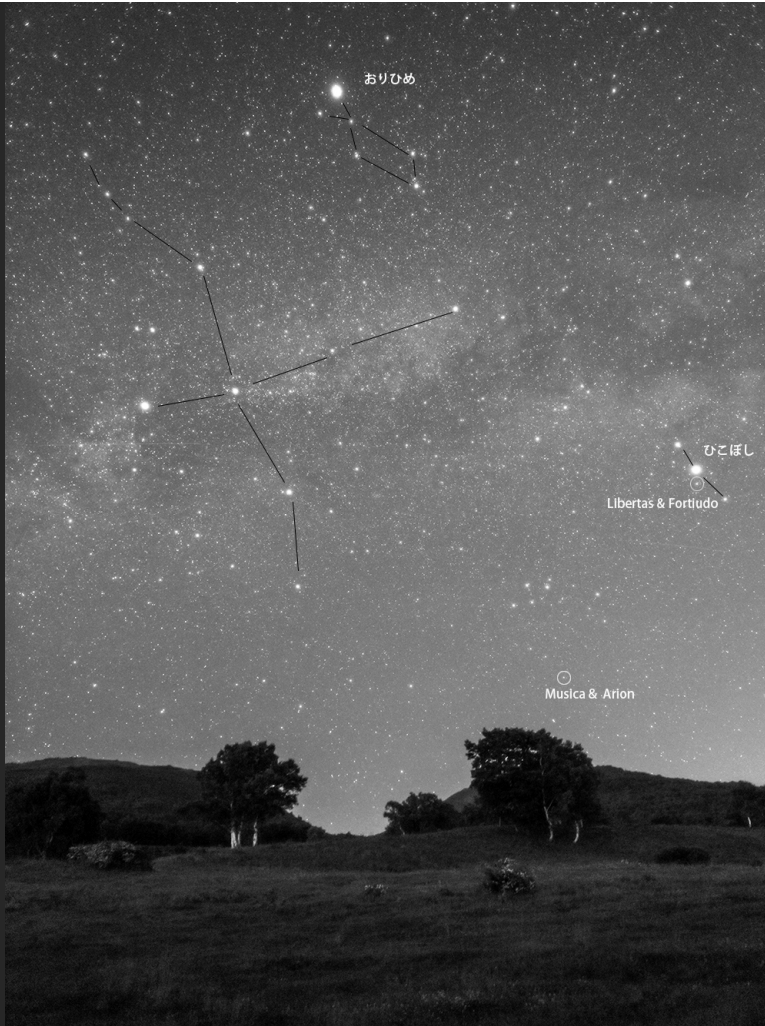


天文教育 7

2016

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



〈特別記事〉本会の法人化について ～法人化検討委員会による検討概要～

〈論文〉分光実験でアクティブラーニング天文学

〈投稿〉Mitaka を活用した教員免許更新講習 / 「この絵に描かれた星は何？」実施報告 / 部分日食に対する公立小学校としての取組 他

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・ **締め切り**は1は原則として奇数月末日、2～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・ **広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000、半ページ ¥12,000、1/4ページ ¥7,000、チラシの折り込み ¥20,000です。

※本誌に掲載された記事は、当会 Web サイト (<http://tenkyo.net/>) にて PDF ファイルの形で公開を予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡をお願いいたします。

なお、2014年9月号から、当会会員に対しては会誌発行後に速やかに、パスワード制限※をかけた形で閲覧できるようにし、発行から1年経過後にパスワード制限を解除して、広く一般に公開いたします。

※今号「事務局からのお知らせ」の末尾をご参照ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

七夕の星空

日時：2016年7月06日20時46分、撮影地：菅平高原（長野県上田市）

夏の星祭といえば七夕。この七夕、新暦では梅雨の真最中。天文ファンなら、七夕は旧暦に限るなどと考える方も多いことでしょう。今年の旧暦での七夕は、8月9日。国立天文台では、2001年より、この旧暦での七夕を「伝統的七夕」と呼んで広報普及してきました。現在では、ライトダウンを呼びかけたり、各地で観望会が開催されたりと多くの人々に浸透してきたようです。さて、この七夕の星空に、日本人グループが名付け親と

なった2つの惑星系があります。ひとつは、わし座クサイ星。自由の象徴である「鷲」から、主星には「社会的・心情的自由」を意味するラテン語の *Libertas*（リーベルタース）、惑星には「不屈の精神」を意味するラテン語の *Fortitudo*（フォルティトゥード）と命名されたのです。もうひとつは、いるか座18番星。主星には「音楽」のラテン語から *Musica*（ムジカ）、惑星には、詩と音楽の天才であり、海賊に襲われた時、イルカに命を救われたというギリシャ神話の *Arion*（アリオン）から命名されました。現代の「七夕の星空」にも新しい物語が加わったのですね。

撮影と文：大西浩次